

世界史探究

第1問 次の空欄（ 1 ）～（ 12 ）に最も適切な語句を、選択肢から選んで記せ。

紀元前1世紀末、漢の皇帝が外戚の（ 1 ）に譲位したことで、新王朝が開かれた。新は儒学を尊崇し、その理想に忠実な体制を築いたが、あまりに性急な改革はかえって人心の離反をまねいた。まもなく（ 2 ）の乱がおこって新は滅び、豪族たちの支持を受けた漢の一族の（ 3 ）が漢王朝を復興した。

後漢では、富をたくわえ学問を身につけた豪族が国政に進出したことから、儒学がいっそう盛んとなり、経典の字句の解釈をおこなう（ 4 ）と呼ばれる学術が栄えた。後漢が滅ぶと、三国時代の魏では（ 5 ）と呼ばれる官吏登用制度がおこなわれ、特定の家門の出身者が高官を独占する傾向が強まった。こうした貴族の形成にともない、魏やそれにつづく晋では、老荘思想の影響のもとで（ 6 ）と呼ばれる世俗を超越した議論が流行した。

五胡十六国時代に華北の動乱を避けて江南に移住した貴族たちは、自然のなかに美を見出し、それを題材とする新たな文学を生み出した。こうしたなかで、官を辞して田園生活を謳歌した詩人（ 7 ）は、後世の隠者文学に多大な影響を与えた。また、南朝の梁で古今の名詩文を集めて編纂された『（ 8 ）』は、後に日本にも伝えられ、宮廷人の教養としてことさら尊ばれた。

また、この時期には仏教がますます盛んになった。華北では、岩山をうがって仏像をまつる石窟寺院が数多く作られたが、なかでも（ 9 ）の莫高窟は、仏像・壁画のほか、文献史料の宝庫としても有名である。また、『法華経』や『阿弥陀経』の翻訳で知られる西域出身の僧（ 10 ）などにより、多くの仏典が漢語に翻訳された。東晋の僧（ 11 ）は、仏法を学ぶため自らインドにおもむき、その旅程を『仏国記』に著している。『西遊記』の三蔵法師のモデルとなった玄奘の紀行『（ 12 ）』からもうかがわれるように、中国僧のインドへの留学熱は、当のインドで仏教が衰退しはじめてからも続いた。

1. 王莽 張騫 鄭玄 班固
2. 黃巾 紅巾 赤眉 八王
3. 劉秀 劉備 劉少奇 劉裕
4. 朱子学 考証学 陽明学 訓詁学
5. 科挙 九品中正 中体西用 一条鞭法
6. 宋学 教案 清談 白話文学
7. 柳宗元 陶淵明 董仲舒 杜甫
8. 紅樓夢 四庫全書 五經正義 文選
9. 敦煌 扶南 殷墟 南詔
10. カーリダーサ 鳩摩羅什 ソンツェン=ガンボ 安祿山
11. 仏図澄 義浄 法顕 菩提達磨
12. 南海寄帰内法伝 資治通鑑 東方見聞録 大唐西域記

第2問 次の空欄（ 1 ）～（ 13 ）にあてはまる語句を記せ。

13世紀末に南宋を征服したモンゴルの（ 1 ）王朝は、余勢を駆って東南アジアにも武力侵攻を試みた。ビルマのパガン朝は侵攻を受けて滅亡したが、ジャワでは新たに（ 2 ）王国がおこってそれ以上の干渉を退け、ベトナムの（ 3 ）朝やチャンパーは元軍に抵抗してこれを撤退させた。

侵攻がやむと、諸国はモンゴル支配下の中国との貿易を再開して経済的繁栄を謳歌したが、14世紀に明が成立すると（ 4 ）と呼ばれる統制政策によって民間人の海上交易は禁止された。そのため、日本を含む周辺海域の諸国は、明に対して形式的な服属を表明する使節を派遣し、（ 5 ）貿易という形で交易を維持する道を選んだ。明の第三代皇帝の（ 6 ）帝は積極的な対外政策をとり、ムスリムの宦官（ 7 ）らに命じて、東南アジアからインド洋までの海域を数度にわたって巡航させ、沿岸諸国に使者の派遣をうながした。これに前後してマレー半島南西部におこった（ 8 ）王国は、ややおくれて中山王によって統一された東シナ海の（ 9 ）王国とともに、15世紀の海上交易の要地として発展した。

16世紀には、（ 10 ）人がマレー半島に活動の拠点を築き、さらに中国沿岸で商業活動を行うためマカオの居住権を獲得し、日本にもたびたび来航した。こうした動きに対抗して、スマトラ北部の（ 11 ）王国などのムスリムの活動が活発になり、それ以前はヒンドゥー教徒が多数を占めたジャワでもイスラーム教徒の（ 12 ）王国が成立した。ジャワでは17世紀以降、（ 13 ）の政治的影響力が次第に強まり、18世紀には同島の大半がその支配下におかれるようになるが、宗教的には現在までイスラーム教徒が人口の大多数を占めている。

第3問 次の問1～10に答えよ。

問1 前333年、アレクサンドロス大王軍がダレイオス3世軍に勝利した戦いは何か。次から選び答えよ。

イッソスの戦い マラトンの戦い プラタイアの戦い

問2 前1世紀ローマにおける第1回三頭政治の結成に加わったのは誰か。次から選び答えよ。

スキピオ ポンペイウス オクタウィアヌス

問3 732年のトゥール・ポワティエ間の戦いにおいて、ウマイヤ朝イスラーム軍を撃退した際に活躍した人物は誰か。次から選び答えよ。

ユーグ＝カペー カール＝マルテル シモン＝ド＝モンフォール

問4 756年、ウマイヤ朝の一族はイベリア半島に逃れ、後ウマイヤ朝をたてたが、その首都はどこか。次から選び答えよ。

コルドバ ジブラルタル カイロ

問5 9世紀にノヴゴロド国を建てたと伝承されるノルマン人一派ルーシの指導者は誰か。次から選び答えよ。

リューリク クヌート ロタール

問6 ローマ教皇レオ10世は贖宥状販売を許可したことで教会批判を招くが、教皇は何の建設資金を得ようとしたのか。次から選び答えよ。

ランス大聖堂 ハギア＝ソフィア大聖堂 サン＝ピエトロ大聖堂

問7 1792年、エカチェリーナ2世に派遣され、北海道の根室に来訪したロシア使節団の代表は誰か。次から選び答えよ。

ベーリング イェルマーク ラクスマン

問8 ガソリンエンジンによる4輪自動車を1886年に製作した人物は誰か。次から選び答えよ。

ノーベル ダイムラー パストゥール

問9 1925年にガージャール朝が廃され、パフレヴィー朝が成立したのはどこか。次から選び答えよ。

エジプト サウジアラビア イラン

問10 第4次中東戦争勃発後、輸出制限により原油価格の大幅な上昇を招き、石油危機を引き起こすきっかけをつくった国際機構はどれか。次から選び答えよ。

OECD OAPEC OAU

第4問 次の空欄（ 1 ）～（ 8 ）に入る適切な語を語群から1つ選び答えよ。また下線部 A～G に関する設問に答えよ。

フランス革命期の1799年、ナポレオン＝ボナパルトはクーデタにより総裁政府を倒し、自らは（ 1 ）という地位に就いて政権の実権を握った。その後、1804年にナポレオンは（ 2 ）の座についた。1805年、（ 3 ）の海戦でイギリス海軍に敗れた A ナポレオン であるが、ヨーロッパ諸国とイギリスとの通商を禁じる（ 4 ）を1806年に出して、イギリスを経済的に追い込もうとした。しかし1812年からの B ロシア遠征 に失敗し、翌年にはライプツィヒの戦いに敗れエルバ島に流された。その後、ナポレオンは再起を図るが、1815年の（ 5 ）の戦いで敗れ、今度は大西洋上のセントヘレナ島に流され没した。

ヨーロッパ秩序再建を話し合うべく1814年秋から開かれていた C ウィーン会議 は、ナポレオンのエルバ島脱出の報を受けて各国の対立が解消に向かったといわれる。ウィーン会議は、正統主義の原則と大国間協調・勢力均衡の考えにもとづくヨーロッパ秩序の再建をめざした。しかしフランス革命や D ナポレオン戦争期 に広がった E 自由主義 とナショナリズムの理念・運動を抑えこむには限界があった。会議後にそうした限界があらわれたのは、ヨーロッパにおいては1821年からはじまった F ギリシア独立戦争 であるとされる。またラテンアメリカでの独立運動もウィーン体制を動揺させた。1810年代に入って以降、（ 6 ）からは、ベネズエラ、アルゼンチン、チリなどがあいついで独立していった。また1822年にはブラジルが（ 7 ）からの独立をはたした。こうしたラテンアメリカでの独立運動についてメッテルニヒは、ウィーン体制の基本原則に対する挑戦と受けとめ抑圧しようとするが、その試みは挫折した。いち早く工業化に踏み出していたイギリスは、ラテンアメリカ諸国が植民地支配から脱し、自国製品の市場になる期待があったため G 独立に好意的であった。またアメリカ合衆国はラテンアメリカ諸国の独立を承認し、1823年には第5代の（ 8 ）大統領が、南北アメリカ大陸へのヨーロッパ勢力の介入をけん制する外交方針を打ち出していた。

【語群】

皇帝 第一統領 国王 教皇 公安委員会 トラファルガー
レパント ワーテルロー アウステルリッツ スペイン ベルギー
オランダ イタリア ドイツ ポルトガル 大陸封鎖令
ナポレオン法典 人権宣言 リンカン ジャクソン モンロー

【設問】

問 A 下線部 A に関連して、ナポレオン=ボナパルトの甥であるナポレオン 3 世は、1861年から67年まで債務不履行問題を口実にある国に出兵したが失敗し、帝政の権威失墜を招いた。どの国に出兵したか。次から選び答えよ。

エチオピア アルジェリア メキシコ

問 B 下線部 B に関連して、次の (あ) ~ (え) を時代の古いものから並べたとき、3 番目に来る出来事を選び、記号を答えよ。

(あ) 日露戦争 (い) クリミア戦争 (う) デカブリストの乱
(え) アレクサンドル 2 世の農奴解放令

問 C 下線部 C に関連して、イギリスがウィーン会議の結果、領有することになったのはどこか。次から選び答えよ。

セイロン島 香港 ジブラルタル

問 D 下線部 D に関連して、13世紀末以降、スウェーデンに統合されてきたが、ナポレオン戦争期の1809年から1917年の独立まではロシアに併合されていた国はどこか。次から選び答えよ。

アルメニア フィンランド ウクライナ

問 E 下線部 E に関連して、1839年に反穀物法同盟を結成し、自由貿易運動の旗手となった人物は誰か。次から選び答えよ。

コブデン ネルソン エンゲルス

問 F 下線部 F に関連して、ギリシア独立戦争に参加したイギリスのロマン派詩人は誰か。次から選び答えよ。

ドラクロワ デフォー バイロン

問 G 下線部 G に関連して、当時のイギリス外相は誰か。次から選び答えよ。

ディズレーリ カニング グラッドストーン